

阿久根市内唯一の高校「鶴翔高校」
そこで過ごす生徒たちの活躍を紹介します



夢と希望に満ちた88人が新たな学び舎へ 第15回鶴翔高校入学式

4月9日、第15回入学式が行われ、今年度は総合学科37人、農業科学科27人、食品技術科24人、計88人が鶴翔高校に仲間入りしました。

前田良文校長は、「地域の期待を担う鶴翔高等学校の生徒としての誇りと自信を持って自らの理想の追求に励んでほしい」と式辞を述べ、新入生代表の田中美咲さん（米ノ津中出身）は、「鶴翔高校のスクールモットーである“挑戦・感動・そして愛”を心に留めて、謙虚に、また、誠実に努力を重ねていきます」と力強い言葉で語ってくれました。



廃棄ウニを農業分野に活かす研究で 鶴翔高校が文部科学大臣賞 受賞

東京・元赤坂の明治記念館で4月22日、秋篠宮同妃両殿下をお迎えして第28回「地球環境大賞」の授賞式が開かれ、廃棄ウニに関する研究で鶴翔高校が文部科学大臣賞を受賞しました。

「地球環境大賞」は、地球温暖化の防止や環境保全活動に取り組む企業・団体を表彰するもので、大賞には大日本印刷、経済産業大臣賞にキヤノン、国土交通大臣賞に積水化学工業など、日本有数の大企業が名を連ねる中で唯一、高校の受賞となりました。授賞式には前田良文校長と農業科学科3年の日高翔さん（美里中出身）が出席し、表彰状とトロフィーをいただきました。日高さんは「このような賞をいただき、鶴翔高校の誉れと思っています。ウニの発酵液をもっと多くの方に知っていただき、利用してもらえると嬉しいです」、前田校長は、「地域からいただいた課題を、高校生が5年間ひたむきに研究した成果が、地球環境に貢献する取り組みとして高く評価され、誠に光栄に存じます。今後も鶴翔高校は地域のさまざまな課題解決の研究を進めますが、地域から世界の持続可能な未来社会の構築を意識して貢献してまいります」と受賞の言葉を述べました。



国家資格「造園技能士」を取得！

総合学科環境緑地系列3年の6人が国家資格である3級造園技能士試験に合格しました。

造園技能士とは、住宅や公共施設などの庭を造る技術を証明する資格で、活躍の場は幅広く、個人住宅だけでなく、公園や街路樹、オフィスの緑化など多岐に渡ります。総合学科3年の瀬崎歩嵩さん（鷹巣中出身）は、「最初は何も出来ませんでしたが、練習を重ねることで合格することができました。残された時間はあまり多くありませんが、少しでも多くの資格を取って進路実現に生かしていきたいです」と話しました。今年は3年生にとって進路を決める勝負の年となります。専門資格を生かした進路実現に期待します。

